

鶴財第350号

令和2年8月4日

各部長
各課長 } 様

鶴ヶ島市長

令和3年度予算編成方針について（通知）

令和3年度は、第6次鶴ヶ島市総合計画の2年度目に当たり、新たに掲げる市の将来像の実現に向け、各施策を前進させる重要な年度である。

そこで、別紙のとおり令和3年度予算編成の基本となる予算編成方針を定めたので、これを念頭に置いて、常に国等の動向に注視しながら、柔軟かつ新たな視点を持って予算編成作業に取り組まれない。

令和3年度予算編成方針について

1 重点的な取組について

第6次総合計画前期基本計画を基本とし、計画に掲げる重点戦略を中心に組み組むこと。

(重点戦略1) 子どもにやさしいまちづくり

- ・ 妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実
- ・ 新しい時代を生きる子どもたちへの教育の充実
- ・ 安心して子育てができる環境の整備

(重点戦略2) いつまでも健康でいられるまちづくり

- ・ 多様な主体による健康づくりの推進
- ・ 外出したくなる環境の整備
- ・ 社会参加の促進

(重点戦略3) 多様な働き方が実現できるまちづくり

- ・ 圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺地域の整備・活用
- ・ 職住近接を中心とした時間と心のゆとりの創出
- ・ 多様な担い手の活躍の促進

2 新型コロナウイルスの影響と歳入歳出について

新型コロナウイルスの影響については、その経済ダメージが平成20年のリーマン・ショック金融危機を上回ると言われており、市の財政に対して甚大な影響を及ぼすことが見込まれる。

こうした状況の中、令和3年度予算編成においては、新しい生活様式に沿った事業の組み立てが必須となることから、別添「令和3年度予算編成の基本的な考え方」を踏まえ、以下のとおり取り組むこと。

(1) 歳入について

歳入については、根幹である市税の減収が見込まれる中、未利用地の売却など保有資産の有効活用、受益者負担の適正化等あらゆる角度から自主財源の確保を図ること。

また、国や県の動向に注視し、特定財源の確保に努めること。

(2) 歳出について

歳出については、新しい生活様式に沿った事業の組み立て（①事業費を増額させて対応する事業 ②廃止・中止・休止・縮小する事業 ③新規事業）を念頭に取り組むこと。

また、既存の計画や方針等の見直し、既存事業の抜本的な見直し、大規模公共事業等の優先順位付けと実施時期の再検討をとおして財源の捻出を図り、最小の経費で最大の効果を出せるよう全庁を挙げて知恵を絞ること。

3 財政的課題の共有

「令和3年度予算編成における留意事項について（通知）」（総合政策部長通知）を精読し、全職員が市の財政上の課題を共有した上で予算編成作業を行うこと。